

喜多方市美術館

喜多方の歴史を学び、
未来を創る



大原美術館蔵 パブロ・ピカソ 『鳥籠』 油彩・画布 1925年 ©2014-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)

A

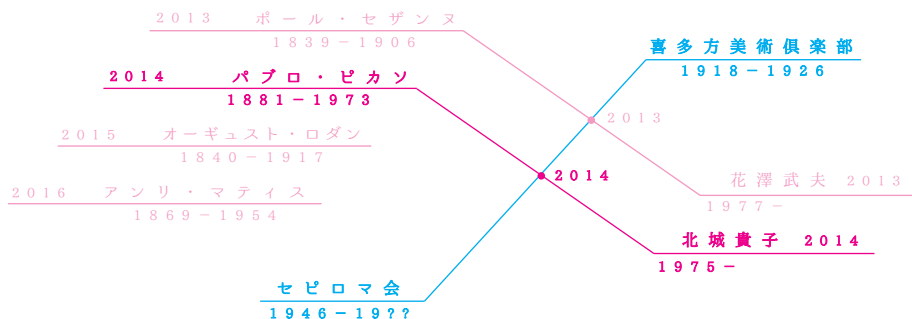
Bon Soir
mourisseurs
et madame
comment allez
vous
セビロマ

大原美術館所蔵作品展

せぴろまの夢

ぴはピカソのピ展

2014.11.8 sat - 11.24 mon



主催

喜多方市／喜多方・夢・アートプロジェクト運営委員会
運営委員会構成団体：喜多方市／喜多方市教育委員会／福島県立博物館／喜多方観光物産協会
会津喜多方商工会議所／きたかた商工会／会津いいで農業協同組合／喜多方市ふるさと振興株式会社
会津北部森林組合／喜多方蔵の会／喜多方市文化協会／喜多方市校長会／喜多方市行政区長会

特別協力

公益財団法人大原美術館

協力

NPO法人まちづくり喜多方／NPO法人喜多方グリーンツーリズムサポートセンター／喜多方美術協会／イーゼル会

後援

福島民報社／福島民友新聞社／朝日新聞福島総局／読売新聞東京本社福島支局／毎日新聞福島支局
産経新聞福島支局／河北新報社／NHK福島放送局／福島テレビ／福島中央テレビ／福島放送／テレビユー福島
ラジオ福島／ふくしまFM／喜多方シティエフエム

喜多方
アート
YUME

KITAKATA
YUME
ART PROJECT



セザンヌ・ピカソ・ロダン・マティス… 喜多方の文化活動セピロマ会の夢を叶える 今年はパブロ・ピカソ！

大正期の喜多方美術倶楽部（※1）から昭和期のセピロマ会（※2）へと連なる、地域に根ざした文化活動を再評価し、アーティストを受け入れ支援してきた喜多方の寛容な風土を再認識するとともに、その21世紀における展開を試みます。

喜多方と同じ蔵の街・岡山県倉敷市にある公益財団法人大原美術館に協力をいただき、所蔵作品の中から、セピロマ会の命名の由来となったセザンヌ・ピカソ・ロダン・マティスの作品を一作家ずつ4年間にわたって展示いたします。今年はパブロ・ピカソの作品が喜多方にやってきます。あわせて大原美術館のレジデンスプログラム経験者作品を展示。そのアーティストを喜多方へ招き、喜多方で制作した作品もあわせて展示。2014年は北城貴子（下記プロフィール）が喜多方で滞在制作を行います。

展示作品

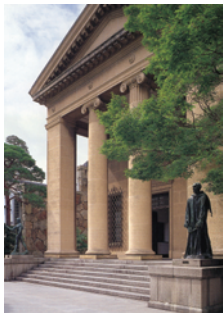
パブロ・ピカソ

『鳥籠』
『貧しき食事』
『フランコの夢と嘘』
『黒い顔』
『槍』

北城貴子

『Waiting Light — muison-so—』
『Reflection— muison-so—』

その他、北城貴子氏が喜多方で新たに制作した作品が展示されます。



公益財団法人大原美術館

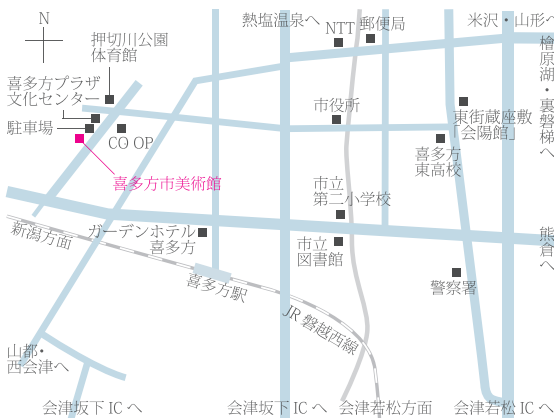
大原美術館は、1930(昭和5)年に、西洋近代美術を常設公開する日本で最初の本格的な美術館として倉敷の地に設立されました。著名な作家の作品展示だけでなく、近年では、アーティスト・イン・レジデンスのプログラム ARKO(Artist in Residence Kurashiki, Ohara) や有隣荘特別展による若手芸術家の支援、チルドレンズ・アート・ミュージアムなどのイベントや、年間でのべ4千人を超える未就学児童の受入れなど未来を担う子どもたちのための教育普及活動などにも力を入れ、現在も発展し続けている美術館です。

招聘作家：北城貴子

1975年大阪府生まれ。2004年京都市立芸術大学大学院美術研究科後期博士課程修了。主な個展：ARKO2006 北城貴子（2007, 大原美術館）、浸透する光（2014, ART FRONT GALLERY）など。主なグループ展：VOCA 展 2004（2004, 上野の森美術館）、Ohara Contemporary（2013, 大原美術館）など。パブリックコレクション：大原美術館。



大原美術館蔵 北城貴子 『Reflection— muison-so—』
油彩・画布 2007年



開館時間 午前10時～午後6時（最終入館は午後5時30分）
休館日 会期中休館日はありません。

観覧料	一般	大・高校生	小・中学生
	500円	300円	200円
20名以上の団体割引料金	400円	250円	150円

喜多方市美術館

〒966-0094 喜多方市宇押切2-2
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/>
tel.0241-23-0404 fax.0241-23-0406

交通のご案内

JR喜多方駅から約1.5km 徒歩20分
タクシー 5分
磐越自動車道会津若松ICから約19km 車で30分
磐越自動車道会津坂下ICから約20km 車で30分

次回展覧会のお知らせ

ふるさと風景展 2015年3月7日（土）～3月29日（日）

（※1）喜多方美術倶楽部

1918（大正7）年、喜多方の商工業者＝町衆たちによって組織された喜多方美術倶楽部は、小川芋銭、石井柏亭などの画家を喜多方に招き、制作支援や作品販売を目的とした画会を開催。1926（大正15）年に終わりを告げるまで会津地方における芸術文化の普及につとめました。

（※2）セピロマ会と佐藤恒三

「セピロマ会」は、喜多方美術倶楽部の志を引き継ぎ、彫刻家・佐藤恒三を中心に喜多方の美術愛好家によって1946（昭和21）年に発足。絵画教室の他、地域活性化を目的とした活動を通して、窮乏する戦後、若者たちに夢と希望を与えました。

佐藤恒三（1904～1965）は、喜多方美術倶楽部の会員であった佐藤彌右衛門の三男として生まれ、東京美術学校彫刻科に学び、在学中より文展・帝展への入選を果たしました。ロダンに傾倒していた恒三は卒業後に渡仏を願いますが戦時下の社会情勢から断念。その西洋美術への憧れが、セザンヌ、ピカソ、ロダン、マティスの頭文字を冠した「セピロマ会」の創設へと至ることとなりました。

E V E N T

関連イベント

◇特別記念講演会◇

「ピカソ 変容する芸術世界」

日程：11月8日（土）10:15～11:45
講師：高階秀爾（大原美術館館長）
定員150名 ◆参加無料 ◆要申込み
会場：喜多方プラザ小ホール

◇上映イベント◇

「ミステリアス・ピカソ 天才の秘密」上映会

日時：11月9日（日）13:00～14:30
11月16日（日）13:00～14:30
定員：70名 ◆参加無料 ◆申込み不要
会場：喜多方プラザ文化センター視聴覚室

◇せびろま大学（トークイベント）◇

アートスクール「せびろま大学」開校！
週末はアートと喜多方について考えてみませんか？

1. 「アーティストをとおしてみる喜多方」

日程：11月7日（金）14:00～15:00
講師：北城貴子（招聘作家）× 星陽子（イーゼル会会長）
× 柳沢秀行（大原美術館学芸課長）
定員：30名 ◆参加無料 ◆申込み不要
会場：喜多方市美術館内

2. 「会津・喜多方がつながる～2013のその後の話～」

日程：11月7日（金）15:30～16:30
講師：花澤武夫（昨年度招聘作家）× 富樫孝男（漆工）
× 柳沢秀行（大原美術館学芸課長）
定員：30名 ◆参加無料 ◆要申込み
会場：喜多方市美術館内

3. 「目の前で起こるアートの実感」

日程：11月15日（土）14:00～15:30
講師：目（現代芸術活動チーム）
定員：50名 ◆参加無料 ◆申込み不要
会場：喜多方プラザ文化センター 視聴覚室

4. 「東北学と東北画は可能か？」

日程：11月16日（日）10:00～12:00
講師：赤坂憲雄（福島県立博物館館長）× 三瀬夏之介（東北芸術工科大学教授）
定員：50名 ◆参加無料 ◆申込み不要
会場：喜多方プラザ文化センター 視聴覚室

5. 「出来事をアートとして残すために」

日程：11月22日（土）14:00～15:30
講師：Nadegata Instant Party（中崎透十山城大督＋野田智子）
定員：30名 ◆参加無料 ◆申込み不要
会場：東街蔵屋敷「会陽館」多目的スペース
※トーク終了後、喜多方市内をアーティストと散策するワークショップを開催します。◆希望者のみ

6. 「妄想する教室 — 12才の社会と美術」

日程：11月23日（日）14:00～15:30
講師：滝沢達史（美術家）× 高松智行（小学校教諭）× カマクラ図工室 はみだし部品（横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校小学生）
定員：50名 ◆参加無料 ◆申込み不要
会場：蔵の里 イベント蔵

イベントの申込み・お問い合わせ

申込みが必要なイベントは、お電話にて受付いたします。
定員になり次第、締め切らせていただきます。

喜多方市美術館

0241-23-0404 (10:00～17:30 / 水曜日休み)

イベントの詳細は、
喜多方・夢・アートプロジェクト2014 ホームページまで
<http://kitakatayumeart.wix.com/2014>